

阿賀町雪椿プロジェクト

【キーワード】

再生可能地域資源

6次産業化

雪椿オイル

栄養機能性

オレイン酸

■概要

- 雪椿を地域固有特産資源として捉え、種子からの搾油により「雪椿オイル」を商品化した。雪椿オイルはオリーブ油と同じオレイン酸を主成分とすることから、雪椿オイルを利用して「雪椿石けん」、「雪椿入浴剤」、加工食品として「雪椿うどん」を商品化した。
- 町内の雪椿自生地や植栽地の保護育成、挿し木苗の生産や植栽を地域住民とともにに行い、景観観光資源化も試みている。



■詳細

雪椿は日本の固有種で、新潟県を中心とした日本海側多雪地帯にのみ生育分布している。そこで、阿賀町の雪椿種子からの搾油とそのオイルを用いた関連商品の開発、商品化を地場企業、団体、自治体と連携して行っている。また、地域住民とともに雪椿自生地の保護育成、雪椿苗の植栽を行っており、雪椿を景観資源として活用するイベントなども試行している。

○競合研究に対する優位性

- 雪椿オイルの主成分であるオレイン酸は、その優れた保湿、保護効果から化粧品、コスメ商品の展開が可能である。
- オレイン酸はオリーブ油の主成分でもあることから、雪椿オイルを栄養機能性を有する食用油としての利用や雪椿うどんのような加工食品への展開が可能である。

○想定される実施例、応用例

- 雪椿オイルの希少性、イメージを強調した化粧品、コスメ商品。
- 雪椿オイルを利用した料理(雪椿御膳)や加工食品類の展開。
- 観賞用雪椿苗木(花卉作物)の生産や雪椿自生地、植栽地の景観資源化、旅行商品化。

○今後の課題、展望

- 現在、雪椿種子の生産量はごく僅かであり(~数10L)、安定した種子の収穫が課題である。そのため、既存の雪椿資源の保護と耕作放棄地への植栽など資源育成に努める必要がある。

■応用を期待する分野

- 過疎高齢地の地域固有資源の再発見、再評価
- その地域資源を利用した商品開発(6次産業化)による地域活性化

本技術の問い合わせ先

新潟大学 地域創生推進機構

TEL:025-262-7554 FAX:025-262-7513 E-mail:onestop@adm.niigata-u.ac.jp



雪椿オイル製品



雪椿オイル



阿賀町角神雪椿園